



校長通信

令和4年度 1号 令和4年4月12日

和歌山市立河北中学校 校長 戸川定昭

《新年度当初のごあいさつ！》

春光うららかな好季節となりました。校内の花壇に、生徒が植えたパンジーやチューリップが、とてもきれいに咲いています。

さて、私こと、戸川定昭、河北中学校の校長を拝命し、3年目となりました。今年度も、どうかよろしくお願ひします。

昨年度、校長通信を25号まで出しました。今年度も、学校の取組、生徒の様子など、時には私のプライベートな話題も交えながら、刊行していきたいと思ひます。

なお、校長通信は昨年度版・一昨年度版も含め、バックナンバーを河北中学校のHPに掲載しておりますので、必要に応じてご参照ください。



《入学式・新任式・対面式・始業式を実施しました》

4月8日（金）、入学式を挙行し、135名の新入生を新たに迎えました。また、その翌週、4月11日（月）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、グラウンドにて、新任式・対面式・始業式を行いました。入学式・対面式で、それぞれ新入生の代表者が、落ち着いて、堂々と中学校生活の抱負を語ってくれました。すばらしかったです。

始業式、校長の式辞で、3つの視点を意識して学校生活を送るよう生徒に激励しました。

1つ目は「自分」についてです。自分のことを好きになり、なりたい自分に向け、努力することを促しました。

2つ目は、「仲間」についてです。クラスメートや、部活の仲間など、まわりの人を大切にし、自分がされて嫌なことは、絶対にしない。逆に、自分がしてもらってうれしいことは積極的にしてあげる。そして、仲間と切磋琢磨して、お互いに高め合う関係を築いていこうと話しました。

3つ目の視点は、自分が所属する「学校」です。地域の方々は、河北中学校の生徒として、一人一人を見守ってくれています。良い行いをしたら、河北中学校はすばらしい学校だと思ってくれますし、好ましくない行動をしたら、河北中学校の信頼が崩れていきます。母校に誇りをもって、地域の方々からも愛されるすばらしい学校にしていこうと促しました。

そして最後に、私がいつも生徒に話している、一つの動作を終えても、気を抜かず、しっかり振り返る心構え「残心」も忘れないよう話をしました。子供たちは、とても真剣なまなざしで、話を聞いてくれていました。

